

7 番 瀬 戸

受付番号2号、質問議員7番、瀬戸伸二。

件名、「町の新たな玄関口、受け入れ態勢は万全か」。

(仮称)山北スマートICの開通は、当町において新たな玄関口として、人流の増加による経済効果等の様々な面で期待される。

町長の所信表明にもある「スマートICを最大限に生かした政策」には、観光施設等の活用が明記されており、期待するところではあるが、IC開通に向けての受け入れ体制は万全なのか危惧するところでもある。

そこで、早急な対応が必要と考え質問する。

1、所信表明にある、「道の駅山北、オアシス公園、河内川ふれあいビレッジの3施設について、担うべき役割を絞り込み、反映させ3施設の魅力を高める」とあるが、具体的な取組は。

2、「スマートICを拠点とした広域幹線道路の整備促進」の中に「県道山北藤野線は、国道246号により東西方面にアクセスすることができるが、町域を超える整備がされてない」とある。全線開通に向けた取組は。

3、「町有財産を再生・利活用する政策」では、「丹沢森林館・薬草園・旧丹沢湖ビジターセンター、玄倉ふれあいランドについて、町として利活用の方向性を改めて整理する」とある。現状と今後の見通しは。

以上です。

議 長 答弁願います。

町長。

町 長 それでは、瀬戸伸二議員から「町の新たな玄関口、受け入れ態勢は万全か」についての御質問をいただきました。

初めに、1点目の御質問の「所信表明には、『道の駅山北、オアシス公園、河内川ふれあいビレッジの3施設について、担うべき役割を絞り込み、反映させ3施設の魅力を高める』とある。具体的な取組は」についてであります。これまで、町では、令和2年3月に策定した「(仮称)山北スマートIC周辺土地利用構想」に示された5つの土地利用展開イメージの事業化に向けて、令和2年度に庁内関係課長で構成される調整会議を立ち上げ、さらに令和3年度からは関係課若手職員によるプロジェクトチームを設置し、検討を進めてまいりました。

また、昨年7月には、県知事と足柄上地域1市5町の首長が一堂に会して意見交換を行う足柄上地域首長懇談会において、私は「(仮称)山北スマートIC周辺施設の利活用」について要望いたしました。

内容といたしましては、本町では、スマートIC周辺に新たな観光施設を整備するのではなく、道の駅山北、オアシス公園、河内川ふれあいビレッジの既存3施設を再整備し、一体的に活用することで、今後開通するスマートIC周辺地域の魅力を高め、地域振興につなげていきたいと考えていることから、神奈川県が管理する道の駅山北の施設充実等について、支援と協力も要望いたしました。

そのことをきっかけとして、本年度から、神奈川県とネクスコ中日本、本町関係課で構成する新たな会議体として、「(仮称)山北スマートIC開通に伴う山北町地域振興プロジェクト会議」を立ち上げ、スマートIC開通に伴う地域振興の具現化に向けた検討、調整を開始し、7月11日に、1回目の会議を開催したところでございます。

本会議では、まず、既存3施設の現状と課題を精査した後に、今後それぞれの施設が担うべき役割を整理し、施設整備に反映させていくことを確認し、具体的な方策については、施設整備部会と観光情報部会の2部会を設置し、検討していくこととなりました。

しかしながら、スケジュール的には新東名高速道路の開通時期や、工事事業者の撤退時期等も勘案する必要があり、特に河内川ふれあいビレッジの再整備については、様々な課題もあることから、段階的に課題を解消しながら進めていく必要があると考えております。

また、今後の検討に当たっては、清水あり方研究会をはじめ、地元清水地区の皆様へ情報提供するとともに、御意見を伺いながら進めてまいります。

次に、2点目の御質問の「『スマートICを拠点とした広域幹線道路の整備促進』の中に『県道山北藤野線は、国道246号により東西方面にアクセスすることができるが、町域を超える整備がされていない』とある。全線開通に向けた取組は」についてでございますが、現状、三保地区、丹沢湖周辺から東方、西方、北方への町域を越える幹線道路が未整備となっており、こうした状況が地域振興や防災上の観点から、長年にわたり大きな課題となってい

るため、町では、令和2年度から県の協力を得て、本町における、広域的な道路ネットワークに関わる意見交換会を設置し、丹沢湖から東方への秦野峠林道、西方への水ノ木幹線林道、北方への犬越路林道の現地調査や意見交換を行ってまいりました。

今後、意見交換会では、丹沢湖周辺から東、西、北の3方向の中で、(仮称)山北スマートICの供用開始を含め、本町における町域を越える幹線道路の必要性や効果などを整理した上で、優先的に検討を進めるルートを設定し、次の段階として、林道などの既存の道路施設を含め、そのルートに対応する複数の路線案を選定し、比較評価してまいりたいと考えております。

したがいまして、現時点では、優先的に検討するルートは決定しておりませんが、いずれのルートを選定するにしても、一般車両が通行できるような整備を行うためには、整備費用や環境面などで大きな課題があると認識しております。

また、これまでも、県知事に対して要望や意見交換を行う首長懇談会や、県議会議員団との政党ヒアリングの場において要望を行ってまいりましたが、今後もあらゆる機会を捉えて、活動を行ってまいります。

次に、3点目の御質問の「『町有財産を再生・利活用する政策』では、『丹沢森林館・薬草園・旧丹沢湖ビジターセンター、玄倉ふれあいランドについて、町として利活用の方向性を改めて整理する』とある。現状と今後の見通しは」についてであります。丹沢森林館、薬草園は当初の整備から既に35年以上が経過し、老朽化が著しくなっております。また、玄倉ふれあいランドは、野外活動施設として平成元年度に整備され、これらの3施設については、過去には指定管理者制度を活用し、民間活力の導入も図ってまいりましたが、1年で撤退の申入れがなされたという経過があり、有効な利活用が図られて来なかったという状況があります。

また、旧丹沢湖ビジターセンターは、もともとは県の施設でありましたが、県の緊急財政対策に伴い、平成28年度に町に譲渡された施設で、その後の利活用について、これまでにアウトドア関係事業者からの問合せもありましたが、民間活力の導入には至らず、現在のような維持管理の形が続いております。

現在、丹沢森林館、旧丹沢湖ビジターセンターについては、施設の利用を希望する民間事業者に賃貸することを優先して、施設の在り方についても検討しているところであります。

今後についても、町の公共施設等総合管理計画の基本的方針に基づき、公共施設の総数の適正化や施設同士の総合的な活用方法、また民間活力の導入を視野に入れながら検討を重ね、利活用の促進を図りたいと考えております。

議 長 7番、瀬戸伸二議員。

7番 瀬戸 7番、瀬戸です。

まず、今年度から設置されました、スマートIC開通に伴う山北町地域振興プロジェクト会議というものについて、これに県も入っているんですよね。

道の駅の状況について、県の見解はどういうふうな見解を持たれているのでしょうか。

議 長 商工観光課長。

商工観光課長 現在、道の駅の山北ですが、あちらは、施設設置者は神奈川県となっているものです。そちらの中で今年、今お話が出ている中では公衆トイレの部分です。あそこの部分については改修を図ろうと。また、このプロジェクトチームにあってもやはり眺望の確保などを図ろうと、そういった御意見などもいただいて、現在作業を進めているところでございます。

議 長 瀬戸伸二議員。

7番 瀬戸 7月11日に1回目を開催したということですが、これの会議の頻度というのはどういう形で行われているのでしょうか。

議 長 企画総務課長。

企画総務課長 この会議なんです、メンバーが、まず、県西土木の課長さん3名、あと県西地域総合センターの商工観光課長さん。あと、町のほうは企画総務課、商工観光課、都市整備課、新東名対策室、あとネクスコ中日本で秦野工事事務所の工務課の課長さんが入って、まず1回目の会議を行いました。ただ、皆さん、ちょっと県のもう土木も課長さんなんで、なかなかそろうということができませんので、その下に部会をつくらうということで、先日、観光部会と施設部会、この部会を設置いたしました。

早急に9月中にも、まず第1回目の部会を開いて、その後2回目、3回目

になると思います。ある程度方向が決まったら、また課長級の会議を開いて、  
どんどん進めていきたいと今考えております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 瀬戸です。

答弁の中についてなんですけど、ふれあいビレッジについては、もう業者  
が撤退しないことにはもう手がつけられないというような状況は分かってお  
ります。

ただ、オアシス公園と道の駅については開通までに考えていかなくちやい  
けない最重点な課題ではなかろうかと思えます。

そこで、今、道の駅についてなんですけど、道の駅は旅の目的地になって  
いると。今、道の駅でも魅力度ランキングなんていうものがありまして、関  
東エリアで128道の駅の中、山北の道の駅が118位という形になっております。

金太郎のふるさとが93位なんですけれど、今年度かなり魅力を上げている  
ということで、これは伸びてくるだろうというネットでの検索なんですけれ  
ど、やはり道の駅を中心としたインター周辺の施設改良というのが重要にな  
ってくるのではなかろうかと思うんですが、その辺いかがでしょうか。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、時間的な経過から考えても、なかなかふれあいビレ  
ッジのほうを改修して、供用するというのはね、かなり時間がかかるというふ  
うに思っておりますんで、当然、その前段階として、今、道の駅については、  
県の施設ではございますけども、今のところ、それらを有効的に活用して、  
そして、それを一つの情報の起点にするようなことを考えていかなければい  
けないというふうに思っておりますんで、あくまでも私の考えとしては、物  
を売るのではなくて、情報を発信するというようなことを重点的にやらない  
と、あれだけの小さなスペースでございまして、なかなか物販をただ売る  
だけで大勢の人に来ていただくというのは、これはなかなか難しいというふ  
うに思っておりますんで、いかに情報を、皆さんに質の高い情報を届けるか、  
そこところがやはり我々として、まず一つ考えていかなければいけないこ  
とだというふうに思っております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 答弁のほうにもありましたけれど、3施設を再整備し一体的に活用することで、今後開通するICの魅力を高めるというふうな話になっております。既に、道の駅というものが同じような公園だったり、キャンプ場だったりを含んだ施設もございます。やはり地域的に、山北道の駅は、それを担うような形になっているなど私は感じているんですよ。そこで今後、河内川ふれあいビレッジについては撤退後になりますけれど、現段階での青写真等はできているのでしょうか。

議 長 商工観光課長。

商 工 観 光 課 長 まず、今の河内川ふれあいビレッジのほうの関係ではあります。ビレッジにつきましては、やはり最大の課題が、真ん中を流れるモロト沢の対策になります。沢の水の関係の放流先、こちらにつきましては、どうしても河内川に流さざるを得ない。そうなりますと、県西土木、県のほうともちょっと調整をしなければいけないというところがありまして、そこら辺をまず整理をさせてもらってから細かい検討になるのかなと考えているところで、現時点では、基本はキャンプ場として生かそうという方針は、考え方は出ておりますが、それ以上のものは出ていない状態でございます。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 撤退しないことには何もできないわけなんですけれど、少なくとも青写真、どういうふうな活用をしたら集客ができるかというような、その辺はやっぱ検討する時期が、今じゃなかろうかと感じているんですけれど、その辺どうでしょうか。

議 長 副町長。

副 町 長 ふれあいビレッジについては、過去2回にわたって、土砂、裏の沢から流れてきて、土砂が堆積して壊滅的な打撃を受けたわけでございますけども、今県の土木事務所と一緒に沢を真っすぐにするのか、今のままにするのか協議をしております。その結果によって今後の在り方について、勝手に沢を真っすぐにして計画とかそういうのはできないわけですから、その辺のところも見据えた中で今後やっていきたいというふうに考えています。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 その辺は理解しました。答弁書にある今後の検討に当たっては清水あり方

研究会をはじめ、清水地域の皆様に情報提供するとともに御意見を伺いながら進めてまいりますというような話になっています。

前回、3月に質問した際に町のプロジェクトチームとちょっと企画という形で質問させていただいたんですけど、現在、町のプロジェクトチームは存在しているのでしょうか。存在していたら活動内容についてお教えてください。

議 長 企画総務課長。

企画総務課長 そのプロジェクトチームの関係なんですけど、存在しているかどうかというのは解散したわけじゃないんですけど、今活動はしておりません。それが先ほど申し上げましたプロジェクトチームの答申、報告書があるんですけど、それを答弁書にもあるように具現化するような、これから課題はどんなことがあるんだ、もっとよくはできないかということで先ほど冒頭申しました県と町とネクスコ中日本の課長級で会議体を設けました。そちらにプロジェクトチームの内容が具現化できるかどうか、具体的なものを検討していくようになっております。もちろんですから先ほど言った部会もそこに設置をしておりますので、より現実的なものになるように調整を進めていくことになっております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 地域の意見を伺いながらということになると、そのプロジェクトチームと地域の意見交換というのも今後必要になってくるのではなかろうかと感じるんですけど、その辺いかがお考えでしょうか。

議 長 企画総務課長。

企画総務課長 そういのができればベストだと思うんですけど、これ先ほど言ったとおり県の方も入っておりますので、なかなか県の人と町民の方というのがなかなか線が繋がらないと思いますので、まずは町のほうで出てってこの会議体じゃなくて、町のほうが地域のほうに出てって意見を聞くというふうなことで考えております。

議 長 副町長。

副 町 長 ビレッジを今の業者に貸したときに、これは地域からの意見でございました。清水あり方研究会、それから清水地区の振興協議会からの意見で取りあえずああやって、今のまま水路の曲がった中で再建はもうあり得ないという

ことで地域から貸して、その間にいい方法を県と一緒に調整していこうという意見でございました。

それに従いまして、町としても、今あの水路、厳しいですよ。細かいんですがあの水路を何とかやっついこうというふうに努力しておりますので、その間をお願いしたいというふうな形でございます。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 お話は分かりました。

所信表明の中で地域との関わりについて、地元はもとより多くの方の御意見を伺いながら、スピード感を持ちながら慎重に進めていきたいと考えております。これちょっと相反するんじゃないかと、スピード感を持ちながら慎重に、じゃあ片方でアクセルを踏んで片方でブレーキかけてるのかと、そういうような町民として捉えることもできるじゃなかろうかと。じゃあ、このインター周辺の土地活用についてはどのように考えているのか、スピード感を持って臨む、無論財政面については慎重に考えなくちゃいけないことは分かっておりますけれど、やっぱりランドデザイン等早めに決めて町民に知らせ得る必要があるんじゃないかと思うんですが、その辺いかがでしょうか。

議 長 町長。

町 長 まず、施設、3施設については様々な課題があります。特に先ほどから言っているふれあいビレッジについては土砂流入のモロト沢というようなものがございまして、それは簡単にただ真っすぐにすればいいというだけではなくて、その後の安全も検討しながら慎重に進めていかなければいけない。

オアシス公園については、当然事業者の撤退を見据えますので、それまでなかなか手がつけられないというようなことがございまして、そういったような施設管理についてはやはり慎重にやっついかなければいけない。

一方、開通がおそらくあと2年後ぐらいですか。令和6年の夏か秋には開通をするんだというふうに思っております。そうしますとやはりお客さんが来られるという部分になりますので、それに対してはスピード感を持って町の観光、そこの3施設は全てが完成しておりませんから道の駅ぐらいしか実際には来ても寄るところがないというふうなことでございまして、それ以



外のものをスピード感を持って情報提供、例えば洒水の滝であったり、つぶらの公園であったり、あるいは丹沢湖であったり、様々なものが山北町、まだまだありますので、またユーシンプルーもその頃には多分通れるというふうに思っております。そういったようなものをよりスピード感を持って、皆さんに情報提供をどういうふうにすればいいか、ただこうのうのがありますよというようなことではなくて、次に来てもらおうと、また来ようというふうに思っただけのような、そんなような情報の提供をしていきたいというふうに思っておりますので、それらについてはいち早く仮に整備が遅れていても何とか町としてはそういったような前向きな情報はどんどん伝えていきたいというふうに考えております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 次の2番目のほうに移らせていただきます。

「広域的な道路ネットワークに関わる意見交換会」というものが開かれていますということです。その進捗状況について、どうなっているのでしょうか。

議 長 企画総務課長。

企画総務課長 意見交換会というのは山北町における広域的な道路ネットワークに関わる意見交換会、そういう意見交換会を設置しています。これ神奈川県さんと町ということで県と町で意見交換を行ってます。もともとこれにつきましては令和元年度足柄上地域首長懇談会、これ知事と1市5町の市長、町長が懇談する会が年1回あるんですが、その場で湯川町長のほうから県知事に対して「圏域を越えた広域幹線道路の整備についても必要性は高い、県の支援や協力等要望する」という発言がされました。その場に同席しました県土整備局長から「道路に関する検討会を町で設けるのであれば県も入って技術的なアドバイスなどで協力できる」とこういう回答をいただきまして、その後、町と県政総合センター、または町と県西土木と協議をいたしまして、令和2年3月25日にこういう意見交換会をつくりましょう、設置しましょうということで調整が整いました。

その後、ですから2年の3月以降、意見交換会を5回、これ会議なんですが5回行いました。また、4回の現地調査も実施しました。この現地調査というのは答弁書もあるとおり、北方、東方、西方、こちらまず丹沢湖のほう

から行けるところまでこのメンバーで行って、ですから犬越路のところとか、玄倉、あと世附のほう行きまして、あと、もちろん道路が陥落、崩落等しておりまして、ずっと突き抜けられませんので、別の日に道志村のほうから山中湖のほうから相模原のほうからも入りまして、今の道路状況について確認して認識を町と県で共有しているところでございます。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 県の、町に対する道路の意欲と県の情熱的なものはどのように感じられますか。

議 長 企画総務課長。

企 画 総 務 課 長 もともと湯川町長のほうから知事をお願いした件なので、やはり町のほうがもちろんそれは熱く感じてまして、県も町が言うんで一緒に課題は整理しましょうということになっているんですが、まず、まだ町のほうの熱意のほうが高いと感じております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 昨年、総務環境常任委員会で犬越路まで視察させていただきました。山北側は土砂災害というか、石とかは崩れてるには崩れてるんですけど道は通れて行くことができました。ただ、トンネルをくぐって相模原市側に入ったところ、もうそちらはもう全然通行ができないような状況でした。

その後、10月に藤野地区、相模原と意見交換をしたんですけど、やはり山北と向こうと温度差が結構あるような感じしております。

そこでなんですけれど、犬越路行った際に感じたことはそこまでの経過というのは山北の新しい財産になるんじゃないかなろうかと私は感じたんですよ。すばらしい眺望だったと思います。

そこで、相手に必要性を持ってもらうのであれば、先に山北側を何とか整備しちゃったらどうなんだろうと。無論、県道の一部であるんで県に申し出て眺望整備を山北側だけでしちゃったらどうかなと、私は思ったんですよ。そのことによって相模原は動くんじゃないかなろうかという、そういう思惑もちょっと出たんですけどその辺どうでしょうか。

議 長 企画総務課長。

企 画 総 務 課 長 この町から広域に抜ける道路ということで、まず3方向を検討している段

階です。ただ、いつまでも3方向、3方向と言ってましても、相手に対しても強力に伝わらないと思いますので、そろそろ、どちらか3方向のうちの1方向をまず優先的に選定して進めていきたいと考えております。なるべく早くまた会議を開きまして、3方向のうち優先すべきものを一つ選んで進めていきたいと思います。

ですから、それが例えば犬越路のほうでしたら、そういう形で町として、そういう方向を考えてますということを強く県に伝えていけば、おのずとちょっと進むのかなと考えております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 答弁にもありますように整備費用や環境面など大きな課題があるということであると、やはり県道というのは、やっぱり町としては県に言いやすい部分があるのかなと感じるんですけど、その辺どうなんでしょうか。

議 長 企画総務課長。

企 画 総 務 課 長 それは県の施策なので町としては何とも言えないんですが、まずちょっとどういようですがルートまずは優先すべきルートの一つ決めて、そこから出てくる課題を解決していくというようなことになると思っています。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 タイムリミットはいつまでに設けるおつもりでしょうか。

議 長 企画総務課長。

企 画 総 務 課 長 先ほどの意見交換会の会議を5回やった現地調査も4回やったということで、中間報告をそろそろ出せないかなということで考えております。ですから、それが今月、来月ぐらい、また会議、まだ日が決まってないんですが、なるべく早急にもう一度会議を開いて中間報告的なものを作成できればということで考えております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 北へ抜ける道、東西抜ける道という部分については分かりました。

所信表明の中に246を通して東西に抜ける、東西二方面やアクセスすることができるというふうな話になっておるんですが、地元住民によると清水橋の渋滞は現在もすごい問題だと。インター開通後にまた渋滞がすごくなってしまふような状況にあると、その辺の緩和策は考えているのかというような地

元からの意見も出てるんですが、その辺に対してはどんなようにお考えでしょうか。

議 長 町長。

町 長 清水橋については、当初スマートインターの国交省さんのほうに伺ったときに、その担当の方から清水橋がどう考えてもこの狭いよというような指摘を受けました。おそらく開通して交通量の問題もありますけども、実際に本当はその前にできればいいんですけど、なかなか予算的にもそのときに言われたのが軽く40億というふうに言われましたんで、今50億ぐらいかかるんじゃないかというふうに思っております。そういった意味では、非常に町としても大変な財政的なことも考えなきゃいけませんし、また実際にそれをやるかやらないか、あるいはどこにお願いするかというようなことを考えなきゃいけませんので。しかし、そのときの担当者が本当に開通したときの問題点としてぱっと行って目についたのがやはりあそこの清水橋の道路事情というのが非常に今後課題になるんじゃないかというふうに言われましたんで、私のほうとしては、やはりそれは非常に専門家の意見ですから重く受け止めておりますし、それについてはもしそういうようなことが起きてしまった場合には最優先で考えなければいけないというふうに思っております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 清水橋については分かりました。ぜひとも地元の意見を尊重できるような体制をとっていただきたいなと思います。

それでちょっと飛ばしてしまったんですけど、先ほどの県との関係の協議体の中に県水源地域活性化推進協会というのが入ってますでしょうか。

議 長 企画総務課長。

企 画 総 務 課 長 入っておりません。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 丹沢湖を考えたときに「やまなみ五湖」という県で推奨している部分があるんですけど、1に水源を大切にしましょうということなんですけど、その中の文章の中に、神奈川県と相模原市、山北町、愛川町、清川村は自然を守りながらやまなみ五湖地域を「人と自然」「都市と地域」との交流の場にすることを目指しているというような文章があるんですね。御存じのように丹

沢湖以外は相模原側にあると、そのつながりというものが、やはり道路を持たないとつながっていかないような状況になっている。そこでこの県水源地域活性化推進協会というのも力になってもらえる団体じゃなかろうかと感じたんですが、その辺お考えでしょうか。

議 長 企画総務課長。

企画総務課長 この会のメンバーのほうに県西地域の企画調整部も入っておりますので、十分そういう形で県のほうで対応してきていただいているというふうに考えております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 縦割りだとそうになってしまうけど、やっぱりやまなみ五湖という横並びで考えた場合どうしたらいいかというような部分も、今後必要になってこようかなと思うんですけど、行政とすれば、どうしても縦割り行政になっているんで、その辺に入っていけない部分はあるかと思えますけれど、やはりいろいろな部分で突っついていくというか、県に申し出ていくという部分が必要になってこようかと思えますんで、今後その辺も考えて検討折衝をお願いしたいと思えます。

議 長 企画総務課長。

企画総務課長 ありがとうございます。先ほど申したとおり、中間報告が出ればそろそろと考えてますんで、そうしましたら、また次の段階に移ると思えます。そのとき、今議員さんから言われた御提案された内容も参考に進めていきたいと考えております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 3番目に移りたいと思えます。

森林館、薬草園、旧丹沢湖ビジターセンター、それと玄倉ふれあいランド、この4施設なんですけれど町長、これ一体的に考える部分あるかなと思うんですけど、地域の合わせやということで、その辺やはり個別に考えられるものが多いんでしょうか。

議 長 町長。

町 長 基本的には、今現在、森林館や薬草園については民間のところを利用してという話もいただいております。また、ビジターセンターについては今ま

でいろいろ話はありましたが、実際にそれを借りたいとか、そういったような方がおられませんので、これは町としてはユーシンロッジとセットでどうでしょうかということこれから考えていきたいというふうに思っています。

また、ふれあいランドについては、今現在もカヌーマラソンとか、様々なものに活用しておりますので、それだとバッティングしないような利用方法であれば可能だというふうに思っておりますので、そういったような考え方で今進んでおります。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 以前、三保地区の人から御意見を伺ったところによりますと、丹沢湖には目的地として訪れてもらえる施設がないと。観光客は通り過ぎるだけだと地元の見解としては、そういう意見が挙がったんですけど、観光施設として何か誘致するような御計画はないでしょうか。

議 長 商工観光課長。

商 工 観 光 課 長 確かに、観光施設としてという話は耳にしたことはございますが、今のところ、そういった事業者の御相談とかそういったものはございません。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 以前、これ町長の思いだと思うんですけど、思いとしてお伺いしたところによると丹沢湖周辺、ボストンのような学園都市であっていいんじゃないかなろうかと。慎重な町長が言葉にされたんで具体的に何かお持ちなのかなと勘ぐってしまったんですけど、その辺、何かお持ちでしょうか。

議 長 町長。

町 長 丹沢湖周辺については、これから特にスマートがオープンするときを目指して、どういうふうに全体を構築するかというのが非常に大事なことだというふうに思っております。今、湖面についてはSUPをやっておりますし、ユーシンブルーについては11月ないしは年明けには開通できるだろうというふうに思っております。

また、ぶなの湯等についても夏場のバーベキューなりをやる方が非常に多くて人気があると、また奥のほうにはウェルキャンプさんもございまして、また、それに行かれる方も非常に多いと。ですから、非常に丹沢湖周辺についてはいろいろな考え方、そして、それに投資したいというような民間業者

は非常に多くはあります。しかし、町としてはやはりその辺は慎重にいかないと、そここのところでキャンプ場を経営している方も非常に多くいらっしゃいますし、また様々な施設の中で生活している方が非常に多いということを考えますと、安易にどこからかぼっと来て、それで皆さんの今までの生活に影響が出てしまうようなことは、極力避けなければいけないというふうに思いますので、やはり地域の方と融合した中で政策を進めていきたいというふうに思っておりますので、その辺は御指摘いただければ大変ありがたいというふうに思っております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 これは施設云々じゃないんですけど、東名施設の東名業者の去った後の土地利用という部分では、向原はもう意見聴取、地権者からしてあるというような話を聞いております。岸・清水・三保についての意見交換についてはどのようにお考えでしょうか。

水上です。水上はもう意見聴取してあるというふうに話を聞いている。

議 長 定住対策課長。

定 住 対 策 課 長 水上の部分に関しましては土地利用研究会というのがございますので、そこで、今後の土地利用については検討させていただいてます。

定住では、尾先地区にまた土地利用研究会がございます。そちら、尾先というのは、ぐみの木公園と山高の間になりますけども、そちらについても定期的な土地利用の検討をさせていただいてます。

それ以外に今言われた清水・岸等は、ちょっと今のところそういう大きなところがございませんので、検討してないような状況になってます。

議 長 副町長。

副 町 長 清水地区、三保地区、その他の地区について、水上は目的があったから進んでいるんですけども、その地区については、今現在、まだ地権者、民地ですので意見聴取はしてございません。ただ、いずれは町が何らかのことをやるについても、やはりいろんな面で意見聴取、意向確認というんですか、そういうのも必要じゃないかなというふうに思います。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 やはり、地域からも町の説明を求める声も結構出てきているので、やはり

早急にその辺は地域との意見交換を実施していただきたいなと思います。これはお願いです。

最後になりますが、先ほど町長のほうが令和6年の秋頃には開通するのはなかろうかというようなお話がありました。ただ、令和6年まで時間をどのように使うことが今後大切になってこようかと思います。町民には何をいつまでに行うかを示す必要があると思いますので、最後の質問としますが町民に説明する上で何をどのようにするのか、今分かる範囲でお教えいただきたいと思います。

議 長  
町 長

町長。

先ほども申し上げましたとおり、まだ開通時期についても中日本さんから正式な回答がございません。そういった中でスケジュール感について、私のほうからここまでこうしますとか、ああしますということは申し上げるわけにはいかないというふうに思っておりますけども、少なくとも今持っている山北の自然環境の資産については、今既にもう持っているわけですから、洒水の滝にしてもユースンブルーにしてもあるわけですから、そういったものは大至急そういったようなものの情報発信をうまくできるようなことをやっていないと開通まで待ってたんでは遅いというふうに思っておりますので、開通がいつになるか分かりませんができるだけ早い中でそういった山北の観光施設なり、あるいはまた物産なりそういったものを発信していかなければいけないというふうに思っておりますので、よろしく御理解をいただきたいと思っております。

7 番 瀬 戸

終わります。